全体	3
個別	02-01

平成２９年度［しまづくり推進部］　組織目標

課　名	政　策　推　進　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	対象外
		最優先課題	対象外

	項　　目	第２次対馬市総合計画の進捗管理を行います。
	内　　容	平成２８年度から開始した第２次対馬市総合計画を推進するため、外部委員で組織する総合計画審議会において、各施策の進捗状況や目標の達成状況、事業内容について検証します。
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 ●施策の進捗状況・目標の達成状況の把握、事業内容の検証　⇒総合計画審議会の開催１回 【達成年度】 ●計画の期間：平成２８年度～平成３７年度の１０年間 ●達成年度：中間　平成３２年度、最終　平成３７年度 ●計画の見直し：平成３２年度
	達成時期	平成３３年３月

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
総合計画審議会の開催				●								
平成２８年度事業実績の調査			→	→								
平成２９年度事業計画の調査			→	→								
総合計画における各施策の実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

全体	4
個別	02-02

平成２９年度［しまづくり推進部］　組織目標

課　名	政　策　推　進　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	ひとづくり、なりわいづくり
		最優先課題	複数

項　　目	対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗管理及び必要に応じた見直しを実施します。
内　　容	平成２７年度に策定した「対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる各種施策の進捗状況及び重要業績評価指標（ＫＰＩ）の達成状況を、外部委員等で組織する総合戦略推進会議において検証するとともに、新たなニーズや社会情勢の変化に応じ、総合戦略の見直しを行います。
指　　標 （数値目標）	【今年度】 ●総合戦略に掲げる施策の実施状況、各重点戦略に掲げるＫＰＩの達成状況の把握と検証　⇒総合戦略推進会議の開催１回 ●ＫＰＩ達成のための、地方創生交付金の活用の推進　⇒地方創生推進交付金の新規申請件数２件 ●必要に応じた戦略の見直し　⇒総合戦略推進会議の開催１回 【達成年度】 ●戦略の期間：平成２７年度～平成３１年度 ●最終的なＫＰＩの達成年度：平成３１年度
達成時期	平成３２年３月

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
総合戦略推進会議の開催					●							
平成２８年度事業実績の調査			→	→								
平成２９年度事業計画の調査			→	→								
総合計画における各施策の実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
地方創生推進交付金の活用	申請	→	交付金事業の実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→

全体	5
個別	02-03

平成２９年度［しまづくり推進部］　組織目標

課　名	政　策　推　進　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	ふるさとづくり
		最優先課題	対象外

	項　　目	対馬市景観計画の策定を進めます。
	内　　容	対馬市景観計画の策定に向け、景観に関する現況調査を実施するとともに、外部委員を含めた景観計画策定委員会での協議を進め、景観形成に向けた課題整理及び景観計画の策定を行います。
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 景観に関する現況調査、基本方針を基に、対馬景観計画策定に向け作業を進めます。 【達成年度】 ・同　上
	達成時期	平成３０年３月

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
現況調査・計画内容の整理	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
景観計画策定委員会の開催					●			●				●
市民への説明							→	→				
議会説明						●						●
パブリックコメント											→	→

全体	6
個別	02-04

平成２９年度［しまづくり推進部］　組織目標

課　名	未　来　創　生　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	全て
		最優先課題	全て

	項　　目	対馬市主要施策にかかるプロジェクト会議を設置します。
	内　　容	地域循環システムの発展的改編に伴い、今後の対馬市振興のために複数部局が連携して取組みを進めるべき施策を抽出し、「対馬市振興プロジェクト会議」として設置し、検討を進めます。
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 ◎対馬市振興プロジェクト会議【全体会】の開催：2回 ◎対馬市振興プロジェクト会議【部会】の開催：各2回 【達成年度】 ◎平成29年度:プロジェクト会議の設置及び各部会での協議 ◎平成30年度～33年度：会議での協議を踏まえた具体的な事業の実施
	達成時期	平成３４年　３月

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
主要プロジェクトの検討	↔	↔	↔									
プロジェクト会議（全体会）の開催				○						○		
プロジェクト会議（各部会）の開催					↔	↔	↔	↔	↔			

全体	7
個別	02-05

平成２９年度［しまづくり推進部］　組織目標

課　名	未　来　創　生　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	なりわいづくり
		最優先課題	ワクワクする新しい仕事の創造
	項　目	様々な機関や業種が連携して産業の振興を目指します。	
	内　容	事業者団体、金融機関、大学などの研究機関、行政、その他産業振興に携わる団体等で構成する「対馬市創業支援会議」において、創業を希望する方を多方面から総合的に支援し、産業振興と雇用の増加により地域の活性化を目指します。 また、特定有人国境離島の地域社会の維持に係る交付金による雇用機会拡充支援事業を活用し、雇用を伴う創業または事業拡大を行う民間事業者の支援を行います。	
	指　標 （数値目標）	【今年度】 ・ワンストップ相談窓口等での相談受付：７０件 ・創業者の目標数：１０件 ・雇用者の目標数：３０名 ※上記については雇用機会拡充支援事業も含む。 【達成年度】 ・同上	
	達成時期	平成３０年３月	

スケジュール	取り組み		４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	ワンストップ相談窓口等の相談受付		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	創業支援会議	代表者会議				○						○		
		ワーキング部会						○			○			○

全体	8
個別	02-06

平成２９年度［しまづくり推進部］　組織目標

課　名	未　来　創　生　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	ふるさとづくり
		最優先課題	安全安心のインフラ整備
	項　目	小規模水素ステーション及び燃料電池自動車の導入促進	
	内　容	次世代のエネルギーシステムとして、燃料電池やその燃料となる水素を供給する「水素インフラ」に注目が集まっており、国内自動車メーカーから水素を燃料とする「燃料電池自動車（FCV）」が市場に投入されています。 さらに、太陽光発電などの再生可能エネルギーが大量導入されてきたことから、電力需要のピークカットや電力系統安定化のために水素インフラや燃料電池を活用しようという動きも活発化しています。 このような状況の中、対馬においても、水素社会を見すえ、また、島内資源で製造が可能な水素の利活用を推進するため、小規模水素ステーション及び燃料電池自動車の先進的な導入を図ろうとするものです。	
	指　標 （数値目標）	【今年度】 関係機関(FCVメーカー、水素製造機メーカー等)との関わりを維持しながら、塩害対策や導入事例など水素社会の動向を注視しつつ、引き続き導入の検討を図ります。 【達成年度】 平成31年度　　小規模水素ステーション、燃料電池自動車の導入	
	達成時期	平成３２年３月	

スケジュール	取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	関係機関との協議（随時）	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	導入済み自治体への聞き取り（随時）	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

全体	9
個別	02-07

平成２９年度［しまづくり推進部］　組織目標

課　名	未　来　創　生　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	ふるさとづくり
		最優先課題	安全安心のインフラ整備

	項　　目	木質バイオマスボイラーの整備
	内　　容	島内のエネルギー資源活用及び低炭素社会化を図るため、公共施設に木質バイオマスボイラーを整備します。
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 旧いづはら病院跡地を利用した温浴施設等への木質バイオマスボイラー設備及び付帯設備の整備に向けた検討を行います。 【達成年度】 ・同　上
	達成時期	平成３０年３月

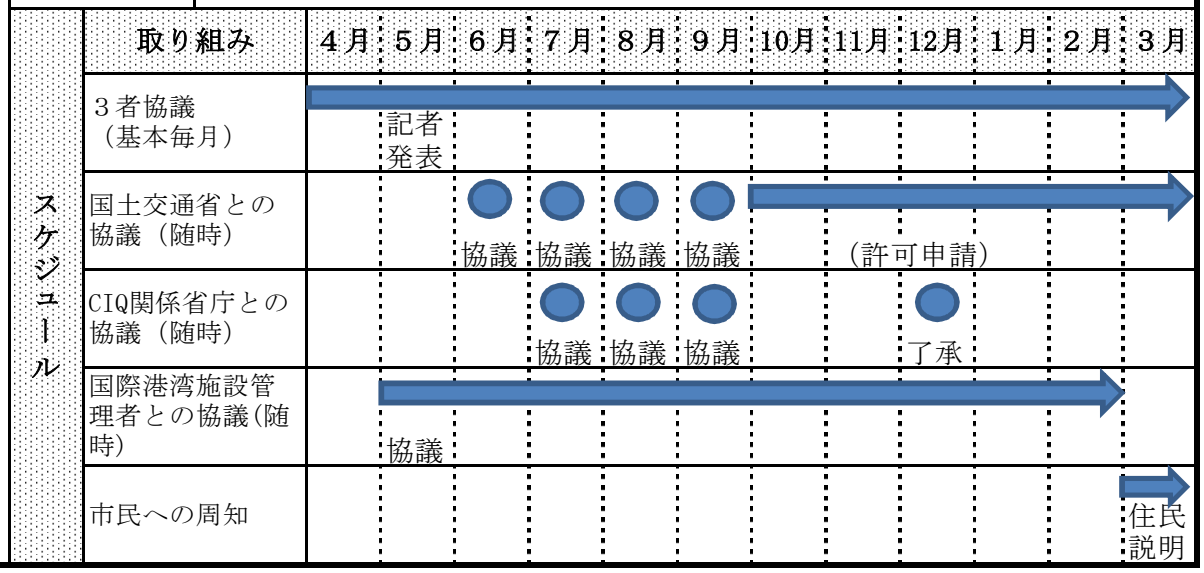
スケジュール	取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	各施設担当部局との協議（随時）	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

全体	10
個別	02-08

平成２９年度［しまづくり推進部］　組織目標

課　名	市民協働・交通対策課

No.	総合計画の区分	挑　戦	つながりづくり
		最優先課題	島内外の移動手段を確保する
	項　目	国際航路に国内旅客を混乗させる取組を進めます。	
	内　容	対馬北部地域と本土を直接結ぶ唯一の航路は比田勝～博多間のフェリー航路のみであり、高齢化が進む北部市民が厳原港や対馬空港を利用するためには身体的、経済的に大きな負担が生じています。 このことから、福岡市と釜山市を結ぶ国際航路船に対馬北部からの国内旅客を混乗させていただき、比田勝～博多間の移動手段として利用することで、市民の生活利便性の向上と福祉の充実を図ります。	
	指　標（数値目標）	【今年度】 ・九州郵船（株）、JR九州高速船（株）、対馬市で３者協議を実施 ・国土交通省との協議及び許可申請 ・CIQ関係省庁との協議、了承 ・国際港湾施設管理者との使用協議 ・市民への周知 【達成年度】 平成３０年度４月１日の運航を目指す	
	達成時期	平成３０年　４月	



全体	11
個別	02-09

平成２９年度［しまづくり推進部］　組織目標

課　名	市民協働・交通対策課

No.	総合計画の区分	挑　戦	つながりづくり
		最優先課題	人と人とのつながりを守る

項　　目	地域主導のまちづくりの強化・推進のため地域マネージャー制度を見直します。
内　　容	「地域自らが考える将来ビジョン」である『地域づくり計画』は２９か所（８７行政区）、『行動宣言』は５４か所（９８行政区）での策定にとどまっています。また、職員数の減少に伴う業務量の増加や地域課題の多様化・複雑化などを背景に、同制度が掲げた役割を果たすことができていない地域も見受けられます。 そこで、地域の実情や従事する職員の実情を考慮し、環境変化に対応できる制度への見直しを図ります。
指　　標（数値目標）	【今年度】 ・制度見直し後の運用方法の確立 ・地区説明会の開催 ・校区会議の開催 【達成年度】 ・同上
達成時期	平成３０年３月

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
制度見直し後の運用方法の確立	→	→	→	→								
市民への周知（広報・ＣＡＴＶ）						→	→	→	→	→	→	→
地区説明会の開催						→	→	→	→			
校区会議の開催						→	→	→	→			

全体	12
個別	02-10

平成２９年度［しまづくり推進部］　組織目標

課　名	市民協働・交通対策課

No.	総合計画の区分	挑　戦	ひとづくり
		最優先課題	外から若者を招き入れる

	項　　目	Ｕ・Ｉターン推進事業
	内　　容	・移住希望者へのワンストップ窓口「しまぐらし応援室」を開設しＵ・Ｉターン者へ対応します。 ・対馬市移住・定住支援補助金を交付し、Ｕ・Ｉターン者数の増加図ります。 ・対馬市移住・定住促進住宅を整備し、移住希望者へ貸し出す「移住お試し住宅」と、移住後の定住支援のための「定住支援住宅」の運用を開始します。 ・各種移住相談会等への参加をはじめ、情報発信を続けていきます。
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 ・Ｕ・Ｉターン関係相談者数　50名 ・移住者数　10名 【達成年度】 ・同　上
	達成時期	平成３０年３月

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
しまぐらし応援室開設、窓口対応			→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
各種補助金交付対応	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
お試し住宅、定住支援住宅の運用						→	→	→	→	→	→	→
各種相談会等への参加、情報発信		● 相談会	● 相談会	● 相談会		● 相談会	● 相談会	● 相談会			● 相談会	